

転出者・退職者

- ・小野寺浩二副園長 ・桂嶋久美子総務課長 ・佐藤彰子主幹
- ・大森寛之第一係係長 ・池田健洋主査 ・鈴木有佳利主査
- ・高橋泰三生活支援ワーカー補助



新規採用

- 生活支援ワーカー 猪股 恵子** 4月より勤務しております。少しでも早く仕事を覚えられるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。
- 生活支援ワーカー 小林 航** 早くお力添えできるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

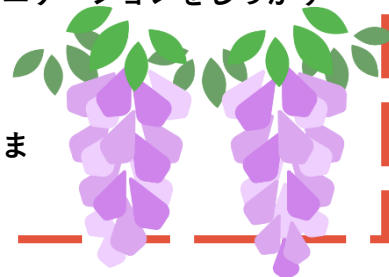
転入者

- 総務課長 大森 薫** はじめての太白荘です。楽しい一年にしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
- 生活支援課長 管野 秀和** 宮城県船形の郷より転入して来ました管野です。利用者の皆さんと活動などを通して一年間楽しく過ごしながら生活支援に努めていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。
- 第一係係長 小松 慎太郎** 偕楽園から着任しました。小松です。皆様と楽しく過ごしながら仕事をしたいと思ひます。よろしくお願いいたします。
- 主査（看護師） 荒木 美智子** 船形の郷から転入してきました。皆様が健康に過ごせるように支えていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。
- 主査 阿部 弥生** 宮城県援護寮より、転入して来ました。利用者の皆様、太白荘にとって助けとなればと思ひますのでよろしくお願いいたします。
- 生活支援ワーカー 菅井 拓海** 宮城県第二啓佑学園からきました。頑張りますのでよろしくお願いいたします。
- 生活支援ワーカー 熱海 宙** 和風園から転入しました、熱海です。利用者の皆様が自分らしく過ごせるよう努めます。よろしくお願いいたします。
- 看護師補助 平 圭子** 若い方々からエネルギーをもらい、黙々と頑張っています！よろしくお願いいたします。

編集後記

記念すべき「第73号太白荘だより」はお楽しみ頂けたでしょうか。職員の異動もあり職員、利用者様共に少しソワソワし落ち着かない様子も見られましたが、徐々にコミュニケーションをしっかりと取りながら生活を送れるようになってきました。

コロナによる制限も少しずつ緩和に向かってきており、今後外出など利用者様の楽しみも増え、より前向きな生活を送ることができればと考えております。今年度も皆様よろしくお願いいたします。



太白荘 だより

令和5年5月 第73号 発行
宮城県社会福祉協議会
仙台西地域福祉サービスセンター
「救護施設 太白荘」
仙台市太白区旗立2丁目3-1
連絡先022-245-3721
<http://www.miyagi-sfk.net/senn/>



太白荘の花壇

※写真掲載はすべて利用者様の了承を得ています。

新年度のあいさつ

園長 杉山 謙治

本園の運営につきましては、日頃より地域の皆様や関係機関、ご家族様よりご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスは令和2年1月31日WHOの「緊急事態宣言」から3年目を迎え、日本では感染法上の分類が2類から5類へ引き下げられました。この間、利用者の皆さまにおかれましては、感染予防のため面会や外出の制限、各種行事や活動の中止などご不便をお掛けしましたことを心苦しくお詫び申し上げます。

一方で感染者数は再び増加傾向にあり、第8波超の「第9波」の可能性も指摘されております。このようなことから、面会や外出等の制限は状況を見ながら徐々に緩和の方向で進めております。また、園内活動は換気等感染予防策を取りながら可能な限り通常活動を行い、利用者様の心身の健康維持に努めて参りますので今後ともご理解をお願いいたします。

感染症対策について ～しっかりと手洗いを～

コロナウィルスに限らずインフルエンザ・ノロウィルス・ロタウィルス感染症は最近、季節関係なく流行しています。

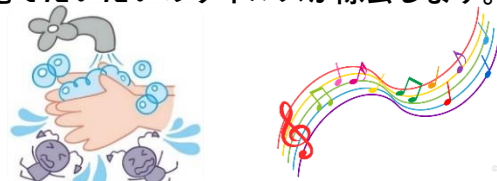
手洗い・マスク着用に加え食事をしっかりと摂る、適度な睡眠と休息が大切です。なかでも手洗いは感染経路を遮断する為にとっても重要です。様々な感染経路がありますが、基本的には手洗いでかなりの感染が防げると言われています。洗い残しの多い指先と親指を念入りに洗いましょう。

石鹸を使用ししっかりと泡立てて、手洗いは30秒 2回実施でだいたいのウィルスが除去します。

ちなみに・・・30秒ぐらいの歌という・・・

「きらきら星 2回」「Happy Birthday 2回」です！

心の中で歌いながら楽しく感染予防しましょう♪



食中毒予防研修会

3月20日、利用者・職員を対象にした食中毒予防研修会を開催しました。

研修会では食中毒といえば、どんなことを連想しますか？の問いかけに、食中毒菌の名前を挙げて下さる方やクイズに参加してもらうなど、皆さん積極的に参加されていました。

近年多い食中毒菌を紹介し、身近でも起きていることを知ったり、食中毒予防の大切さを再確認したりする場になったのではないのでしょうか。

食事を作る側、配膳などの準備をする側、食べる側、利用者・職員みんなで安心安全な食事管理をしていきたいです。

食中毒予防の基本は『手洗い』です。手洗いの仕方や洗い残しの多い場所について、手を動かしながら確認をしました。引き続き正しい手洗いをして感染症予防に努めましょう。



お花見

4月12日、お花見弁当が振る舞われました！綺麗な葉桜を眺めながら豪華に盛り付けられたお花見弁当を召しあがっています。飲み物もオレンジジュースやビール等の数種類の中から好きな飲み物を選び、ビールを選んだ利用者様は「たまに飲むビールは美味しい！」

と笑顔でおっしゃっていました。

皆さん大満足だったようです！



事業計画のお知らせ

例年よりも一足早い桜の開花と共に令和5年度がスタートしました。昨年度同様、利用者のみなさんが身近な地域で安心して暮らせるよう、利用者のニーズやライフステージに応じた質の高いサービス提供が出来るよう、職員スキルの向上に努めます。また、以下の計画的な事業運営により利用者の方々の安全で安心な生活を確保します。

【基本理念】

利用者の方々の安心・安全の保障と共に「地域との共生」を目指し、各事業を展開します。障害の種別を問わず一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる地域のセーフティネットとして機能します。

【基本方針】

生活保護法に基づき、利用者の方々の日常生活の安心・安全を確保するとともに、日常生活の自立や地域生活移行等の実現を目指し、利用者主体のサービスを提供します。

【重点項目】 救護施設機能（循環型セーフティネット）の発揮

生活保護を受けている障害のある方で、地域において日常生活を営むことが困難な方を受け入れ生活の場及び各種生活支援を提供するとともに、長期入所、高齢者の重介護化などを招かないように地域移行や他法施策による支援に移行させる循環型セーフティネット機能を発揮します。

【施設方針】（職員憲章）

- (一) 私たちは、常に「利用者の最大の利益」を念頭に、利用者主体の支援に努めます。
- (一) 私たちは、利用者にもっと近いサポーターであり、最良の理解者になれるよう努めます。
- (一) 私たちは、常に現状に満足することなく、新たな課題に果敢に挑戦します。
- (一) 私たちは、常にコミュニケーションを通わせ、風通しの良い明るい職場環境を築きます。
- (一) 私たちは、積極的に支援技術と知識を高め、地域社会に貢献します。

S.J様退所の様子

4月中旬に太白荘を退所し、グループホームへ入居された方がおりますのでご紹介いたします。

約3年4か月太白荘で生活をされ、その間にグループホーム移行に向けて様々な訓練を行ってまいりました。日々の生活で欠かすことのできない入浴や清掃、時には自身で調理をしながら生活スキルの獲得に向け、取り組んでまいりました。また、グループホームおよび就労予定先の見学や体験、周辺地域の下調べを通して本人が希望するグループホームへの移行を実現することが出来ました。

太白荘を退所される際のお見送りでは「元気で頑張ってね」や「体調に気をつけてね」などの言葉を受け、他利用者と握手をする姿も見られました。太白荘職員としても今後の活躍を期待しております。体調に気をつけて頑張って下さい！

